

2026年6月6日

R8 年度関東スポーツ推進委員研究大会 in 栃木大会

林 但

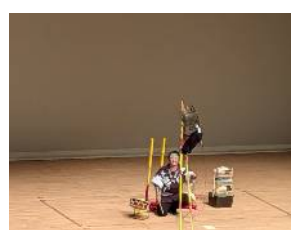
1. 日時;6月5日(土)受付 10:00~15:20 6日(日)受付 9:00~12:00 解散
2. 場所:栃木県総合文化センター 他
3. 趣旨:関東各都県スポーツ推進委員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与する。
4. 主催:(公社)全国スポーツ推進委員連合、関東スポーツ推進委員協議会、
栃木県スポーツ推進委員協議会
5. 参加:スポーツ推進委員,生涯スポーツ担当,その他スポーツ関係者、来賓・アトラクション他約 1,800 名
6. 内容:進行の順に感じたこと・気づいたこと他
 - (1)アトラクション1:栃木県警察音楽隊 年間 60 件前後の演奏による警察広報活動
 - (2)開会式・表彰式:主催者・歓迎の挨拶に始まり、永年の功績に対して各都県から推薦された 84 名が一人ずつ表彰状を受けた。神奈川県は最多の 23 名、横須賀市からは高坂学区の高橋匡史さんが受賞。
 - (3)アトラクション2:「日光おさるランドショー」(日光さる軍団)の演技に会場全体が笑いの渦。
 - (4)基調講演:栃木県鹿沼市出身 平野早矢香氏(ロンドンオリンピック団体銀メダリスト)
演題「昨日の自分より一歩前へ～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～」
 - ・話は冒頭で自分の選手時代から今の選手はすごい！3つ感じていると話された。①ボールが大きくなった、材質もセルロイドからプラスチックに変更 ②ジュニア時代から世界で戦っている ③明確な目標を持って戦っている。その後、自身の小学校の時から仙台の強豪校・中学高校を経てミキハウスに入社への決断。
 - ・自分で決め取り組む、日々前進/昨日の自分と比較して一つひとつ成長していく。
 - ・特にロンドンでメダルを取るには、卓球界全体で取り組んだ、①ライバル(シンガポール、香港、韓国)の選手の分析 ②戦術・戦略の検討 ③必要な技術取得の話にはくいいるように聞き入ってしまった。現在も卓球の解説他で平野さんの人柄にも触れたような気がする。
 - (5)翌日は分科会、第二分科会パネルディスカッション「女性アスリートの指導を見据えた地域スポーツの推進体制を考える」に参加した。



警察音楽隊の演奏



高橋さん受賞の場面



日光さる軍団



平野早矢香氏講演

7. 感じたこと

- ・今年度も多くの方と出会い、話をさせていただきました。
 - ・第一分科会では、パラスポーツの推進で6つの競技が紹介。体験の場があった。
- 以上